



(2019. 7. 19)発行

学校法人 帯広葵学園

反抗期

所長 外館 昭良

2歳頃から「いやいや」と言って、お母さんやお父さんのいうことを聞かなくなる事があると思います。これは、子どもの成長の証でもある『第一次 反抗期』が原因と考えられます。2歳頃になると心が成長し『自我』が芽生え、『自己主張』もはっきりしてきます。そこで自分のやりたいことが思い通りにならない場合などに、気持ちを抑えきれずに『叩く』『ける』『物を投げる』『バカ等の言葉を言う』などなど、反抗的な行動がみられることがあります。4歳や5歳の子どもも同じで『中間反抗期』の時期で、第一次反抗期と同じような行動をしてしまう場合があります。お母さんやお父さんにとっては、「うちの子、どうしたんだろう？」と心配になり、ついカーッと怒鳴ってしまうこともあると思います。でも、少し我慢してください。お子様を頭ごなしに叱ると、さらに反抗的な行動になってしまう場合があります。さらに反抗期が伸びてしまうこともあります。

幼児期の子どもは成長が未熟なので、言葉で自分の気持ちをうまく相手に伝えることができなく、また、自分の気持ちをコントロールすることも大人のようにはいけません。叱る前に、どうして叩いてしまったのか、または嫌な言葉を使ってしまったのかを聞いてみましょう。もしかすると、納得できるような理由があるかもしれません。そんな時は、子どもと同じ言葉を復唱して子どもが伝えたかったことを受け止めてあげることで、心が静まる場合があると思います。その上で、「でも、たたいたりすると、危ないからやめようね。」と、やってはいけないことを教えてあげると良いですね。

また、命令口調や否定的な言葉を使うより、肯定的な言葉を使うことで、子どもが受け入れやすくなる場合があります。たとえば、「早くしなさい！」ではなく、「支度が出来たら、〇〇しようね！」や、「片付けしなさい！」ではなく、ゲーム性を入れて「お母さんとどっちが早いかな？ よ〜い、ドン！」と楽しめる要素を入れることも良いかもしれません。本人がどうするか決められないで迷っている場合は、「これとこれ、どっちにする？」と選択肢を絞ってあげるのも良いかもしれません。絶対にダメなことは、毅然とした態度を一貫して貫くことも大切です。子どもが安心できるようスキンシップをとる事や、子どもが片付けの場所など自分で判断できるようにマークを付けてあげることも良いと思います。また、触られたくないものや必要のない物などは見えないところに保管するなど、トラブルの原因になる物を排除するなどして環境を整えることも大切です。

飛んでけ! 夏ばて

夏は暑さで食欲がなくなったり、体力を激しく消耗したりします。上手に食べて、暑さに負けない体を作りましょう!

エネルギーの源 たんぱく質
エダマメや トウモロコシなど

抵抗力をつける ビタミンA
ノリやカボチャ、ニンジンなど

疲労回復に大切な ビタミンB1
豚肉、大豆などの豆類、緑黄色野菜など

水分補給は、麦茶、水
甘みのないものがお勧め

<6~7月 あんなこと、こんなこと>

<東士持> 『お楽しみ会』



芋の皮むき ~ フライドポテト作り



日々の散歩



挑戦遊び (こま)

<南中音更> 『七夕まつり』



七夕飾りの前で



♪七夕の歌をご披露!



水やり当番



砂場遊び

<西中音更> 『七夕まつり』 魚釣りゲーム



♪ 歌の出し物です ♪



緑陽台保育園にて。



お昼寝の時間